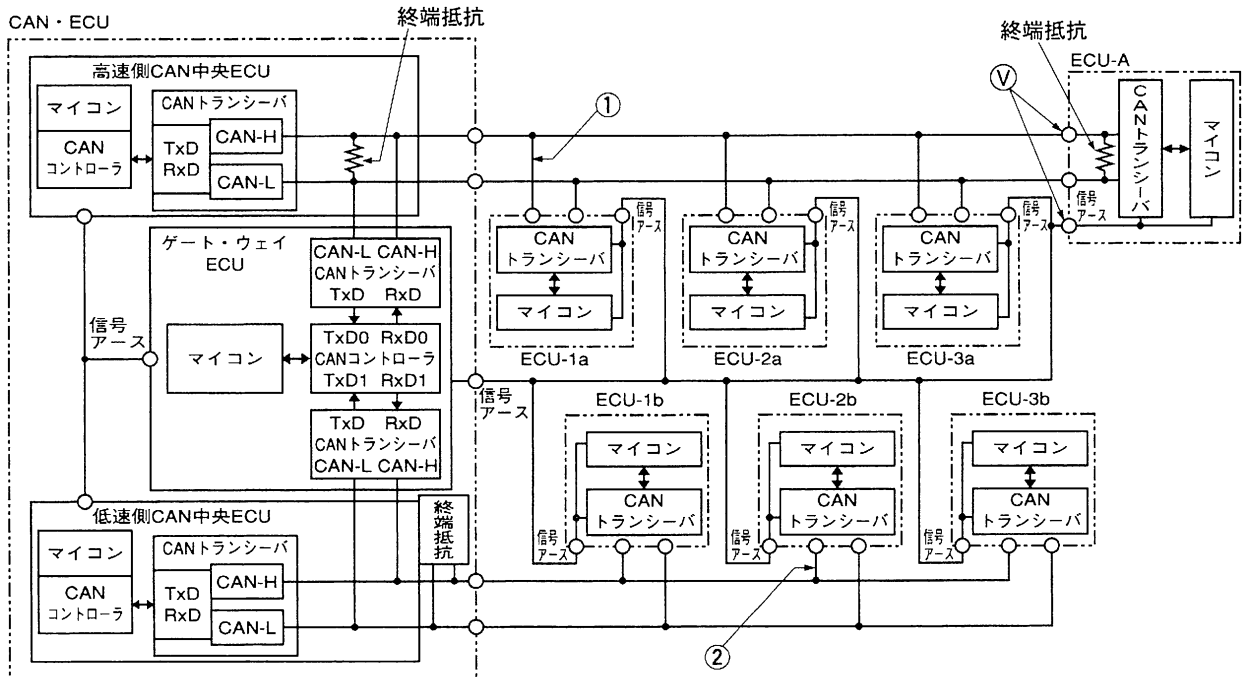


[No. 10] 図に示すCANシステムに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。



- (1) 高速側CANと低速側CANのCANバスは、CAN-HとCAN-Lの両方のCAN信号を使用してデジタル信号を作るディファレンシャル・エンドの方式である。
- (2) 高速側CANの終端抵抗にパッシブ・タイプを設けている場合、①の箇所で短絡（地絡）が発生すると、メイン及びサブ・バス・ラインのCAN-H線側には信号電圧が発生しない。
- (3) 低速側の終端抵抗にアクティブ・タイプを設けている場合、②の箇所で断線が発生すると、CAN-H線側のメイン・バス・ライン側サブ・バス・ラインの信号電圧は変化しないが、CAN-L線側サブ・バス・ラインの信号電圧が上昇する。
- (4) 高速側CANバスの片側の終端抵抗が不良（断線）となった場合の電圧Vは、高速側バス・ラインのインピーダンスの上昇で正常時より高めになる。

正解 (3)

②の箇所で断線が発生しても、低速側のCAN-H線側もCAN-L線側もメイン・バス・ライン側サブ・バス・ラインの電圧は変化しない。ECU (ECU-2b) 側のCAN-H線側のサブ・バス・ラインの電圧が上昇する。